

文科省の片岡参事官が資料 26-1(概算要求に向けた JAXA の研究開発重点事項)を 4 分程で説明し、その後 6 分程の質疑応答があった。(議題に「概算要求」との言葉があったが、(1)国民生活の向上等、(2)産業の振興、(3)人類社会の発展、(4)国際協力等の 4 つに分類した「重点事項」の特定を狙った委員会議決事項であった。)(概算要求の言葉につられたようで、何時にも増して傍聴者が多かったが、「概算要求額」に繋がる記述は一切無く、多くの傍聴者はがっかりした事であろう。

松尾委員長:本委員会では長期計画でも示されて居ります様に、今後の打上げ需要の多様化に対して、より柔軟且つ効率的に対応出来る輸送系の構築を目指すと言う事となって居りまして、中小型のロケットについて必要な研究開発を進めるべきと考えて居ります。で、此の基本ラインに沿って、次年度予算の編成にあたって頂きたいと、但しその際、GX ロケットにつきましては、現在評価を進めてる最中でありまして、其の関連予算に関しては此の評価結果を踏まえて取り扱わなければならないと言う点を留意して置きたいと言う風に思います。宜しいですか？

片岡参事官:今年の 2 月に策定しました宇宙開発に関する長期的な計画に示されて居ります様に、GX ロケットの今後の進め方については、現在行っている評価の結果等を踏まえ進めるとされて居ります。ご指摘の点を踏まえて対処して参りたいと言う風に考えて居ります。

松尾委員長:あと何か、委員の先生方お気付きの点御座います

でしょうか。はいどうぞ。

青江:一つはですネ、「人類社会の発展」の処の二つ目なんですネエ、「科学の活動」につきましては今日世界第一位の成果を上げて来て居ると。此の様な活動が維持できるよう、こう云った研究を継続的に実施出来る様にして頂きたいと。まあ、意味する処と云うのは矢張りあの、科学関係の予算、まあ全体の予算が非常に厳しいと言う状況で、去年も申し上げたんですけども、科学関係の予算につきましてはですネ、矢張り少し厳しい状況にズッと傾向的に在る。其の点については特段の配慮を願いたいと言う事を去年も申し上げましたが、引き続きやっぱりお願いをして置かなきゃいかん事の内の一つかなと思って居りますので、其の点十分留意して置いて頂きたいって、此れが一点なんですネ。それからもう一点目はですネ、探査につきましては、まあ、**積極果敢に挑戦して行く¹**んだと、此れが長期計画の基本ラインでありますネ、そう云う方向で編成にあたっても考えて頂きたいと、斯う思う訳でありますけれどもですネ、なかんずくやっぱり、長期計画の考え方に従えば、やっぱり、先ずは其の次に階段登るものと云うのは月と云う考えに立って居ると云う風に私は理解して居るんですネエ。あの長期計画

¹ 此れは少々言い過ぎだろう。青江委員は常にその様に仰るので、此の発言は当然予測できるのではあるが、アメリカを独走させない範囲で、出来るだけゆっくりした研究開発を進め、予算の突出を避けると云うのが本当の処なのだろう。其の為にも、当面の重点課題を「月を調べ尽くす」事に置いているのであろう。

と云うのは、まあ、この辺は十分に踏まえた形ですネ、編成にも十分留意頂きたいと云う事をお願いして置きたいと思います。以上です。

池上:あの、今の意見をサポートすると云う事なんですけれど、今回の此の整理はですネ、一応基本法に則って整理されていると云う事で、で、宇宙科学関係と云うのは「人類社会の発展」と云う処で書いている。で、何か若干距離が有るナあって云う感じがしないでもないんですが、あの、宇宙基本法を見ますとですネ、其の35条の中に「宇宙開発利用」と云う言葉が60弱、59位御座います。ところが「宇宙科学」って言葉が一つしか載ってない訳ですネ。で、まあ、気持ちとしては解らん訳では無いんですが、矢張り大きな仕掛けが必要となる宇宙科学って云うのは、矢張り他の科学技術研究とは違う範疇に在る様な感じがする訳で御座います。ですネ、是非あの、宇宙科学を今後も支援して行くと云う事をですネ、文科省の方としては継続して頂きたいと云う風に思ってます。

松尾委員長:まあ、あの、基本法における「科学」の数は、私は「自明の事だ」と云うんで省略されたと理解して居りますけれど、それから、野本さん何か御座います？ 宜しゅう御座いますか？ 森尾さん御座いますか？

森尾:非常に細かな事なんですけど、2頁の最後のところですネ、「我が国初の国際枠組みを活用し、日本の優れた宇宙技術を世界、特にアジア太平洋地域等に展開する。」って云う、何か主語が「日本の優れた宇宙技術を」ってなってるのが一

寸引っ掛かる、まあ、「宇宙技術をアジア太平洋地域等に展開する」って云うのはまあ其の通りなんですけど、「利用技術」みたいなものなんじゃないかな、主に展開しようとするのはネ。だから、もう一寸広い意味で、一寸見られるようなストーリーが出来ると良いんじゃないかなって思います。ええと、宇宙の利用技術とか²ですネ、特にアジア太平洋地域等に展開すると云う。勿論小型衛星を作るって云う、その宇宙技術其の物も含まれるんでしょうけどネ、まあ、センチネルアジアなんかでやってる様な事は寧ろ利用技術ですから、もう一寸広く、そう云うのを包含する表現が有れば。

松尾委員長:「利用技術」と言えど、其の一環だと思うんですけどもね。

森尾:まあ、これは解りませんが、ただ。

青江:何か、利用って云うのがキーワードで。

松尾委員長:では其の件どうなるか知れませんが、此れで以て決定とさせて頂きたいと思います。どうも有り難う御座います。

² 範囲を広げたいと云う気持で発言されている様であるが、もっと慎重に考えて頂きたい。地球観測衛星のデータから情報を抽出する技術は、軍事利用である偵察との共通技術であり、無暗に輸出してはならない技術である。また、地球観測衛星のデータを商業販売する会社もあるので、これ等の営業妨害になるようなデータ提供も避けなければならない。点検を怠ると通信・放送衛星で起こった事の轍を踏む事になりかねない。